

世界史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 18 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入のこと。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題用紙は、必ず持ち帰ること。
10. 試験時間は 60 分である。
11. マーク記入例

良い例	悪い例
	  

〔I〕 次の文章を読み、下記の間に答えなさい。

氷期においてシベリアとアラスカを隔てるベーリング海峡は陸続きであった。この時代に、モンゴロイド系と思われる現生人類がアメリカ大陸に移住してきたものと考えられている。この先住民たちは、南北に長いアメリカ大陸各地に広がって行き、それぞれの地域の環境に適応した文化を発展させていった。そのうち、最初に北アメリカ地域に移住した先住民は、狩猟採集民であった。これに対し、中央アメリカや南アメリカに移住した先住民は、トウモロコシ、トマト、ジャガイモ、サツマイモなどを栽培する農耕文化を発展させた。

高温多湿のメキシコ湾岸では、前1200年頃に ① 文明が成立していた。この文明では、土や石を積み上げたピラミッドを造って神殿が構築されたり、絵文字や暦も使用されはじめた。その後、メキシコ中央高原では前1世紀に ② 文明が生まれた。この文明では、黒曜石製品の交易が盛んに行われた。また、羽毛の生えた蛇神などが信仰の対象とされていた。この文明の中心都市には、今も遺跡として残る太陽と月の2つのピラミッドをはじめ、多数の建築物が造られた。また、人口も5世紀頃には数万から十数万の大都市へと発展した。14世紀になると、北方から移住してきたアステカ人によって、アステカ王国⑦が^⑦つくられた。このアステカ王国においても、ピラミッド状の神殿が建設されたり、絵文字が使用されたりしていた。アステカ王国は、優れた軍事組織を有しており、この組織を通じてメキシコの広範囲にわたる地域を支配していた。

また、ユカタン半島には、紀元前から16世紀にかけて ③ 文明が展開した。この文明でもピラミッド状の建築物が造られたほか、精密な暦法や独自の象形文字④が使用されていた。

一方、アンデス高原北部では、前1000年頃に ④ 文化が成立して以降、この文化を基礎として紀元前後にティアワナコやナスカなどの都市が興亡した。その後、 ⑤ は、15世紀には現在のコロンビアからチリに至る広大な地域を支配した。この国の文明は高度な石造建築の技術を有し、人々は灌漑施設を利用した農業も^⑥行っていた。この国では文字は使用されていなかったが、独自の方法⑧によって情報を記録に残した。また、この国では、金や銀の^⑧鑄造が行わ

れ、様々な金属細工が作られていた。しかし、青銅については祭祀用器具の原料として使用されていたが、鉄器は知られていなかった。この国では、太陽崇拜が行われ、国王は太陽の化身とされていた。こうして栄えていたこの国も、1533年^㉔にスペイン人のピサロによって滅ぼされた。

問 1 文中の空欄の①～⑤のそれぞれにもっとも適切と思われる語句を解答欄に記入しなさい。

問 2 文中の下線部㉑～㉔に関して、下記の間(ア)～(エ)に答えなさい。解答は解答欄に記入しなさい。

(ア) 下線部㉑に関して、アステカ人が建設したこのアステカ王国の首都はテスココ湖のなかの島に建設された石造りの町であるが、この首都の名前を何というか。

(イ) 下線部㉒に関して、この文明では様々な独自の技術を発展させたが、そのうち特に記数法は注目すべきものであった。この注目すべき記数法を何というか。

(ウ) 下線部㉓に関して、海拔約 3400m の盆地にあったこの国の首都はどこか。

(エ) 下線部㉔に関して、この国の人々は文字を用いなかったことで知られているが、独自の方法によって情報を伝達していた。そこで用いられていた情報伝達のための独自の方法とは何か。

(オ) 下線部④に関して、ピサロによって滅亡させられたこの国は、その後スペインの植民地となり、エンコミエンダ制が導入された。これは、先住民の保護とキリスト教化を条件として、先住民とその土地に対する統治がスペイン人植民者に委託される制度であったが、実際のところ、抵抗を続ける先住民の人口減につながった。こうした惨状をスペイン国王に訴え、先住民の救済に努めた聖職者で、『インディアスの破壊に関する簡潔な報告』を著した人物はだれか。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の間 に答えなさい。

1519年、スペイン=ハプスブルク家のカルロス1世は、オーストリア、ブルゴーニュからスペインにわたる広大な帝国の皇帝であるカール5世となった。現在のオランダとベルギーにわたる地域であるネーデルラントも、カール5世の支配する帝国の一部であった。同時期にドイツで始まった宗教改革はネーデルラントにも影響を与え、北部を中心にカルヴァン派の新教徒が増加した。カール5世は新教徒に対して穏健な政策を取ったが、彼の息子であるスペイン王 ① はカトリック化政策を進めて新教徒を弾圧するとともに、ネーデルラントから自治権を奪おうとした。これに対して、ネーデルラントの諸州では激しい抵抗運動が起こり、カルヴァン派の多かった北部7州は、1579年、ユトレヒト同盟という軍事同盟を結成して、オラニエ公ウィレムの指揮の下でスペインに対する抵抗運動を継続し、1581年、ネーデルラント連邦共和国のスペインからの独立を宣言した。ネーデルラント連邦共和国はオランダとも呼ばれるが、それは連邦の中心であったホラント州に由来するものである。1609年、オランダのスペインからの独立は事実上達成されたが、国際的な承認は1648年の ② 条約まで待たねばならなかった。その後、オランダのアムステルダムはフランドル地方の アントウェルペン(アントワープ) ^⑦ にとって代わって商業・金融・文化の中心都市となり、17世紀前半、オランダは経済面においても文化面においても最盛期を迎えた ^⑧。1602年にはオランダ東インド会社が設立され、ジャワ島のバタヴィアを根拠に、アジアの香辛料貿易に乗り出した。1623年、モルッカ諸島の ③ 島でオランダ商館襲撃の陰謀があったとしてオランダ商館員が多数のイギリス商館員を殺害する事件が起こったことをきっかけに、イギリス勢力がジャワ島から撤退し、オランダはジャワ島を中心とする地域における貿易を支配した ^⑨。

他方、カトリック教徒が多かったネーデルラントの南部10州は、スペインに対する抵抗運動から途中で離脱し、親スペインの ④ 同盟を結成し、スペインの支配下に残った。スペイン支配下で、ネーデルラント南部は、毛織物を中心とした貿易の拠点として大いに発展した。17世紀後半、スペインの力が弱ま

ると、スペイン王女を妃とするフランス王ルイ 14 世が継承を主張して、この地域に侵攻した。しかし、これを嫌ったイギリスがオランダと共に出兵し、ルイ 14 世はフランドルの一部を獲得するにとどまった。1701 年、断絶したスペイン王位をめぐりスペイン継承戦争が起こったが、1713 年のユトレヒト条約によって終結し、ネーデルラント南部はスペイン＝ハプスブルク家の支配するオーストリアの領土とされた。その後、この地域は、度重なるフランスとオーストリアの対立的となり、1795 年にはフランスに併合されたが、フランス革命後のナポレオン体制が終結すると、ウィーン会議によりオランダに併合されることになった。ネーデルラント南部がオランダからの独立を達成したのは 1831 年のことである^③、同年、レオポルド 1 世を初代の国王として立憲王政のベルギー王国が成立した。ベルギーの国際的地位の確立に尽力したレオポルド 1 世が死去した後、1865 年に、彼の息子であるレオポルド 2 世が国王となった。レオポルド 2 世は植民地獲得に執心し、イギリス出身のアメリカ人探検家である ⑤ のアフリカ探検を援助し、コンゴ川流域の地域を手に入れた。このコンゴ川流域は、^④1884 年から開催されたベルリン会議において、コンゴ自由国という独立国家として承認されたが、実際にはレオポルド 2 世の私有領にすぎなかった。

問 1 文中の空欄の①～⑤のそれぞれにもっとも適切と思われる語句を解答欄に記入しなさい。

問 2 文中の下線部⑦～④に関して、下記の間(ア)～(オ)に答えなさい。解答は解答欄に記入しなさい。

(ア) 下線部⑦に関して、アントウェルペン(アントワープ)聖母大聖堂は、小説『フランダースの犬』の主人公ネロが憧れた 17 世紀フランドル派のある画家の絵画が収められていることで有名であるが、外交官としても有名なこの画家は誰か。

- (イ) 下線部①に関して、17世紀前半に活躍し、近代自然法理論を発展させて国際関係に応用して国際法の発展に寄与し「近代国際法の祖」と呼ばれるオランダ人の法学者は誰か。
- (ウ) 下線部②に関して、16世紀末にジャワ島南部に建てられたが、王国内の紛争やオランダの介入により18世紀中頃に滅ぼされたイスラーム王国は何か。
- (エ) 下線部③に関して、ベルギーがオランダから独立したのは、1830年にフランスで起こったある出来事に呼応してベルギー市民が武装蜂起したことがきっかけである。この1830年にフランスで起こった出来事は何か。
- (オ) 下線部④に関して、1884年から1885年にかけて行われた、アフリカ分割について話し合うためのベルリン会議の開催を提唱したプロイセンの首相は誰か。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の間に答えなさい。

北朝から隋・唐朝までの王朝の皇室と外戚は、北魏を建てた ① 族の拓跋部の出身者であった。隋朝の第2代皇帝の ② は、積極多岐な対外攻略政策をとった。ベトナム中部の林邑を討伐し、高句麗には3回にわたる遠征を行ったが失敗した。唐朝の建国に際しては、隋末唐初にモンゴル高原を本拠地とする騎馬民族である ③ が支援の騎馬軍団を出したが、唐朝の第2代皇帝である ④ は、628年に中国を統一した後、この ③ を唐軍に攻略させている。

唐代にはユーラシアの東西交通路を通じてソグド商人が往来し、海上交通路を通じてムスリム商人が往来し、中国からも仏僧がインドに赴くなど、国際的な往来・交流が盛んとなった。

中国からみて東北方面の国際情勢では、新羅は高句麗と百済を滅ぼして朝鮮半島を統一したが、高句麗の遺民とツングース系諸部族を統合した ⑤ は、今の中国東北地方に渤海を建国した。渤海はその後契丹人の国である遼に滅ぼされた。

他方、中国からみて西南方面の国際情勢では、7世紀にチベット諸王国を統一して成立した吐蕃は、安史の乱の際には一時長安を占領するなど唐朝と抗争したが、9世紀前半には唐朝と和平を結んでいる。

問 1 文中の空欄①～⑤のそれぞれにもっとも適切と思われる語句を下記の語群から一つずつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

〔語 群〕

- | | | |
|-------|---------|---------|
| A 東突厥 | B 西突厥 | C 王直 |
| D 柔然 | E 鮮卑 | F 耶律大石 |
| G 煬帝 | H 耶律阿保機 | I 完顏阿骨打 |
| J 馬韓 | K 李自成 | L 大祚榮 |
| M 丁零 | N 李淵 | O 女真 |
| P 李成桂 | Q オイラト | R 李元昊 |
| S 王建 | T 李世民 | U 回紇 |
| V 東匈奴 | W 西匈奴 | X 高車 |

問 2 文中の下線部㉑～㉔に関して、下記の間(ア)～(オ)に答えなさい。解答は各問の選択肢の中からもっとも適切と思われるものを一つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

(ア) 下線部㉑に関して、隋朝に関する次の記述のうち正しいものはどれか。

〔選択肢〕

- A 文帝は都城として大興城を築城した。
- B 官吏任用制度として郷舉里選を実施した。
- C 税法として両税法を実施した。
- D 土地に関して占田・課田法を実施した。

(イ) 下線部㊸に関して、高句麗に関する次の記述のうち正しいものはどれか。

[選択肢]

- A 高句麗と加羅は、7世紀半ばに連合して新羅を攻撃した。
- B 高句麗は427年に開城に遷都した。
- C 広開土王(好太王)は朝鮮半島南下策をとり、新羅・百済を従えた。
- D 高句麗は313年に帯方郡を滅ぼした。

(ウ) 下線部㊹に関して、唐代の宗教に関する次の記述のうち正しいものはどれか。

[選択肢]

- A 太宗の時代にペルシャ人阿羅本が布教を許され、長安で波斯寺を建ててマニ教を布教した。
- B 「南無阿弥陀仏」の名号をとらえた善導は、浄土宗を大成した。
- C インドから達磨が入唐し、禅宗を開いた。
- D 7世紀末に西域から伝来した祆教は、長安などに寺院を開いたが、ソグド人を通じてウイグルでも広まり、国教となった。

(エ) 下線部㊺に関して、渤海に関する次の記述のうち正しいものはどれか。

[選択肢]

- A 渤海を構成する民族のうち、ツングース系諸部族は、総じて靺鞨人と呼ばれていた。
- B 渤海は国都を昇竜に置き、都城は長安をモデルに造営された。
- C 渤海は唐の文物制度を取り入れ、仏教文化が栄え、王室寺院の仏国寺が創建された。
- D 9世紀には「海東の盛国」と呼ばれた渤海は、仏典の印刷のために金属活字を発明した。

(オ) 下線部㊦に関して、吐蕃と唐朝をめぐる国際情勢に関する次の記述のうち正しいものはどれか。

[選択肢]

- A 青海・四川地方にあった南詔は、唐朝と吐蕃の対立を利用しながら、9世紀に全盛期を築いた。
- B 雲南地方の王国吐谷渾は、唐朝と吐蕃の対立の中、唐朝に服属したが、7世紀後半には吐蕃の攻撃を受けて瓦解した。
- C 青海・四川地方で遊牧していたタングート族は、吐蕃の圧迫を受けて8世紀半ばまでには靈州やオールドス南部に移り、11世紀前半には大夏(西夏)を建国した。
- D 安史の乱では、唐朝は、甘肅地方を本拠地とする南匈奴の援助を得てようやくこの反乱を平定した。

〔Ⅳ〕 次の文章を読み、下記の問に答えなさい。

19世紀には、世界各地で、大量の労働力への需要が生じたことで、地域外から労働力の需要地へと労働者の大規模な移動が続いた。このため19世紀は、しばしば「移動の世紀」といわれる。ではなぜ、この時期にこうした大規模な人口移動がみられたのであろうか。

19世紀における移民の送出し側の状況を見てみると、農業における生産性の向上や医療水準の向上による死亡率の低下などを背景とする、人口の急増という共通点がみられる。ヨーロッパでは、工業化の進展とともに人口が急増して都市への人口集中がすすみ、大都市には大量の非熟練労働者や事務職員などが集中した。またヨーロッパでは、農村部において多くの農民が土地や仕事を失ったことも、都市への移住、さらには海外への移民が生じた背景にあった。他方、中国やインドでも、同様に人口が急増していた。インド南部では、イギリス東インド会社が徴税を目的として ① を導入することによって一人だけが土地所有者として認定されることになった結果、同一の土地に関するその他の住民の既得権益が無視されることになり、ヨーロッパの場合と同様、農村部において労働力の流動化がみられた。

19世紀において大規模な労働力の移動がみられたもう一つの重要な要因として
⑦ て、欧米とアフリカとの間の奴隷貿易が禁止されたことがあげられる。奴隷貿易禁止の風潮のなかで、世界各地の鉱山や鉄道建設現場、プランテーション農場などで単純労働者への需要が高まった。プランテーション経営によりモノカルチャー一経済化した地域において、それまでのアフリカ大陸からの大規模な人口移動の流れが途絶え、これを代替する労働力が必要となったのである。また、産業革命による工業化の進展により、安価な労働力が大量に必要とされた。ラテンアメリカについてみると、キューバやブラジルでは、これまで黒人奴隷が担っていたプランテーションでの労働を、ヨーロッパやアジアからの移民労働者が代替するようになっていった。アメリカ合衆国でも、奴隷制度の廃止前後に生じた工業化により、大量の労働力が必要とされていた。一方、東南アジアでは、ヨーロッパ諸国が本格的な植民地経営に乗り出し、産業革命により一次産品への様々な国際的

需要が高まるなかで、一次産品生産のための労働力が必要とされた。

さらに、いわゆる交通革命により、遠距離の移動に要する時間が大幅に短縮されたこと^①も、世界の様々な地域への移民を容易にしたと考えられる。

19世紀の人口の国際的移動の大きな流れとしては、ヨーロッパから南北アメリカ大陸への自由なヨーロッパ人の流れと、インド・中国から東南アジアやアメリカ大陸への年季契約などによるアジア人移民の流れとがあった。

米国への移民は、1840年代には、1845年に始まる「ジャガイモ飢饉」をきっかけとして、^② ②からの移民が多くみられた。また19世紀後半からは、その他のヨーロッパ地域やアジアからの移民も増加した。

中国やインドからアメリカ大陸や東南アジアへは、劣悪な条件のもとで多くの移民が送りこまれた。彼らは、③とよばれ、契約労働者などの形態ではあったが、実際には人身売買だと非難されることもあった。例えばイギリスの植民地マラヤでは、過酷な労働のために多くの③が雇われた。ここでは19世紀に④の生産において中国系移民、20世紀初頭からは⑤の生産においてインド人が大量に雇われた。

移民の増大により、移民の受入れ先では大きな社会的な変化が生じ、しばしば^④受入れ国の住民と移民との間に軋轢が生じることもあった。例えば、マレー半島や東南アジアの島嶼部では、マレー人・ヨーロッパ人・中国人・インド人など複数の民族が政治的・経済的役割を異にした、いわゆる分断社会が成立し、その後植民地が独立する際にも様々な問題を生じることになった。

現在、経済のグローバル化により、貿易・金融・情報の流通だけでなく、労働力^④の世界的な移動も増大してきているところ、先駆的形態ではあるが、すでに19世紀の段階でかなりの程度の労働力の「グローバル化」が生じていたことがわかるであろう。

問 1 文中の空欄①～⑤のそれぞれにもっとも適切と思われる語句を下記の語群から一つずつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

〔語 群〕

- | | |
|--------------|------------|
| A 華僑 | B ザミンダーリー制 |
| C ルーマニア | D 石炭 |
| E ポーランド | F オランダ |
| G 錫 | H 華人 |
| I 銀 | J クーリー |
| K 金 | L 新移民 |
| M ベルギー | N フランス |
| O 砂糖 | P 香辛料 |
| Q 旧移民 | R アイルランド |
| S 石油 | T デンマーク |
| U ライヤットワーリー制 | V 銅 |
| W ゴム | X コーヒー |

問 2 文中の下線部㉗～㉚に関して、下記の間(ア)～(オ)に答えなさい。解答は各問の選択肢の中からもっとも適切と思われるものを一つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

(ア) 下線部㉗に関して、奴隷制度に関する次の記述のうち正しいものはどれか。

[選択肢]

- A フランスは、1789年人権宣言第1条で「人間は、自由、かつ、権利において平等なものとして生まれ、生存する。社会的差別は、共同の利益に基づくものでなければもうけられない。」と定めた。これを受け、ナポレオンは、奴隷貿易禁止と奴隷制度廃止を立法化した。
- B 解放奴隷の家に生まれたトゥサン＝ルヴェルチュールを指導者とする反乱から独立運動を展開したフランス領サン＝ドマングは、ハイチとして独立した。憲法に黒人共和政を明記した国家ハイチの誕生をうけ、その後独立したブラジルなどのラテンアメリカ各国でも、19世紀前半には奴隷制度が廃止された。
- C スペイン政府は、1807年に奴隷貿易を禁止し、1833年には奴隷制度を廃止したが、これは、スペインにおける関税引下げに応じない砂糖プランターたちの勢力を抑え、スペインでの砂糖価格を引き下げることが直接の目的とするものであった。
- D ラテンアメリカでは、19世紀後半からの経済発展にともなって労働力の需要が高まり、欧米や日本を含むアジアからの移民を引きよせた。例えばブラジルのプランテーションにおけるコーヒー栽培では、イタリアや日本からの移民が奴隷制度廃止後の重要な労働力となった。
- E 19世紀、米国では、新しくできる州が奴隷制度を採用するか否かをめぐり、奴隷制度を維持する北部諸州と奴隷制度を廃止した南部諸州とが激しく対立していた。

(イ) 下線部①に関して、交通革命に関する次の記述のうち正しいものはどれか。

[選択肢]

- A 1825年にイギリスで開通したリヴァプール・マンチェスター間の鉄道は、世界最初の本格的な商用旅客鉄道線であるとされている。
- B ロシアを東西に横断するシベリア鉄道の建設はかなり遅く、ロシア帝政期に計画されたが、実際の着工はロシア革命後のソヴィエト時代に入ってからのものである。
- C 石油を燃料とする蒸気船は、1807年にアメリカ人フルトンが実用化したもので、19世紀後半の大西洋定期航路では帆船にとってかわった。
- D ニューコメンが実用化した蒸気機関は、炭鉱の排水用に使用されていたが、ワットによって改良されたことにより、多方面に利用されるようになった。
- E フランス人レセップスの指導で着工されたパナマ運河は1869年に開通したが、これによりヨーロッパ・アジア間の航行日数はそれまでに比べ大幅に短縮された。

(ウ) 下線部㉑に関して、米国への移民に関する次の記述のうち正しいものはどれか。

[選択肢]

- A アロー戦争で敗れた清朝は、1858年の天津条約で、イギリスへの香港島の割譲、広州など5港の開港などを認めた。また同条約において、清人の海外渡航が対外的に認められたことで、その後中国から米国を含む海外への移民は急増した。
- B 米国は移民国家として自由移民の原則を建国以来守ってきたが、1882年に日本人移民を禁止したのを皮切りに、その後、移民の質的・量的規制を行うようになった。
- C ドイツ皇帝アレクサンドル2世の暗殺をきっかけとして1881年から1884年にかけてドイツで発生した、ユダヤ人襲撃(ポグロム)は極めて大規模であり、このあと、ドイツから多くのユダヤ人が米国へ逃れていくようになった。
- D 19世紀、統一後のイタリアでは、南部は綿工業や機械工業などを中心として経済的に発展したが、北部はこのような発展から取り残された。このため19世紀後半になると北部から多くの人々が米国などに移民として流出した。
- E ニューヨーク港に入ったヨーロッパからの移民は、エリス島で所定の審査を受けたのち、米国への入国が許された。

- (エ) 下線部⑤に関して、人種・民族間の軋轢に関する次の記述のうち正しいものはどれか。

[選択肢]

- A 米国ではアジア系移民が制限されていたのに対し、カナダでは19世紀以降、多文化主義の立場から、日本人や中国人などの非ヨーロッパ系の移民を積極的に受け入れてきた。
- B オーストラリアは長く白豪主義を堅持し、1990年代までは、ヨーロッパ系移民が優遇される一方でアジア系移民の入国を制限する、差別的な移民政策をとっていた。
- C 1840年代にイギリスの植民地になったニュージーランドでは、先住のアボリジニーの武力闘争を鎮圧し、イギリス人の入植がすすめられていった。
- D 1920年代になるとアメリカでは、移民に対する風当たりも強くなり、同じ白人でもカトリックのアイルランド系やイタリア系は差別され、黒人やアジア系移民が人種偏見の対象とされた。サッコ・ヴァンゼッティ事件というユダヤ人の冤罪事件もこの時期におこった。
- E 第3共和政期の1905年に政教分離法を制定し、国家の宗教的な中立を国是としてきたフランスでは、移民系のムスリム女性が公教育現場でスカーフを着用することの是非が近年問題となっている。

- (※) 下線部④に関して、現代の国際的な労働力移動に関する次の記述のうち正しいものはどれか。

[選択肢]

- A 2004年には、エストニア・ラトヴィア・リトアニア・ポーランド・チェコ・スロヴァキア・ハンガリー・スロヴェニア・キプロス・マルタが新たにEUに加わり、2007年には、ルーマニア・ブルガリア・ウクライナがさらにEUに加わった。EU内では労働者の移動・居住の自由が認められているため、これら新規加盟国の国民は、イギリス・ドイツといった経済水準の高い国々で働くことができるようになった。
- B 北アメリカでは、1994年にアメリカ合衆国(米国)とカナダ・メキシコが北米自由貿易協定(NAFTA)を発足させ、締約国間で貿易、労働者の自由な移動を約束し、経済連携の強化をはかった。この協定の締結により、メキシコから米国への移民が増大し、いまではヒスパニック系住民の米国での存在感が高まっている。
- C アジア諸国から中東の産油国への移民は、1970年代のオイルショック以降、大幅に数が増えた。
- D EC各国では、1970年代のオイルショック後に経済が停滞し、失業者が増大した。1980年代から各国で、外国人の排斥、移民・難民の受入れ拒否を主張する団体の動きが活発化するなか、ヨーロッパ各国は、1985年にシェンゲン協定に調印し、各国の国境管理を強化することにした。
- E 第二次大戦後の西ヨーロッパ諸国の経済復興と繁栄を支えた労働力は、低賃金をいとわない外国人労働者であった。1970年代までの西ドイツでは、「ガストアルバイター」と呼ばれる東ドイツや東欧からの移民が多かったが、やがて彼らが故国から家族をよびよせ、西ドイツ国内人口における外国人の比率が高まったことで、元々の住民と移民系の住民との緊張が高まった。